

おうちの図工室・美術室

ギャラフレイ星人の音楽鑑賞

対象学年 小学校4年生～中学1年生

想定時間 最低1時間～

題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

この宇宙には、ギャラフレイ星人という宇宙人がいます。皆さんは知っていますか。見た目は、人間そっくりなのですが、五感の使い方は、全く違います。おいしいなと味を感じるのは眼、うれしいなどの考えていることは音として耳で理解することができます。そして、私たち地球人が聞く音を「見る」そうです。

では、地球の音楽を鑑賞したら、そんなギャラフレイ星人には、どんな形と色彩として感じられるのでしょうか。ギャラフレイ星人になったつもりで、「音楽」を「見える」ようにしてください。

- パソコンで作っても、画用紙や、コピー用紙に絵の具や、ペンで書いてもいいですね
- 作品の大きさは、大きくても小さくてもなんでもかまいません
- 作品にした音楽の詳細（歌っている人、演奏している人や、題名など）は作品の裏に書いてくださいね。
- 作品を作って感じたことや考えたことを作品の裏や別の紙に書いて教えてください。
- 提出日は〇月〇日の登校日です。でも、早く先生に見てほしい人は、写真にとって、下のアドレスまで添付で提出してください。そのとき、別の用紙に書く文章は打ち込んでくださいね。

ANCS としてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

自己を深める

自分が感じているものと、自分以外が感じているものは、同じではないということを想像することで、自分の体から得た感覚について再度捉えなおす機会になります。

深く見つめる

自分がこれまで感じてきた経験を活かして、視覚と聴覚の相関性について自分なりにまとめます。見たり聞いたり、もしくは他の感覚器官から感じ得るものへの理解を深めることを期待します。

三観点

知識・技能

自分が選んだ音楽のイメージに適した形と色彩を選ぶことができる。

思考・判断・表現

聴覚から感じたことを視覚的に表現するために、描き方や配色を考えている。

主体的に学習に取り組む態度

自分とは感覚が違う存在について想像しようとしている。

おうちの図工室・美術室

活動の足あと・子どものことば



音楽 ショパン ワルツ 第3番 Op.34-2 イ短調

流れるようなワルツだけど、悲しい短調の雰囲気合うように、黒の画用紙に長い線をたくさん描きました。でも、曲のなかで、時々高い音がキラキラと聞こえてくるので、黄色をアクセントにして、周りに散りばめました。

感想

作品を描いている中で、音を見るってどういう感じなんだろうと、ずっと考えてみても、まったくわかりませんでした。でも、ギャラフレイ星人にとっても私たちが音楽を聴くという感じもわからないのだと思います。でも、こうして作品にすると、全く違う感覚で生きている人（宇宙人）とも少し近づけるのではないかという気がしてきます。